

下越美術教育研究会

会報

春季号

令和4年3月15日

下越美術教育研究会

事務局  
新潟小学校

http://kabiken.org

印刷 ハイングラフ



「自分で感じ、自分で決めていく」

下越美術教育研究会 副会長 青木博子  
(新潟市立沼垂幼稚園 園長)

三歳児が、箱をつなげたものを道路に見立て、車を走らせています。そのうち、道路がなめらかでないことに気付きます。そこにセロハンテープを付け、また車を走らせます。再び足りないところをセロハンテープでつなぎ、走らせます。つなげては走らせ、見つめて考えることを繰り返しました。そして、やり抜いた後、弾けるような笑顔で「よし」とつぶやいたのです。

この活動は、同じ形・大きさの箱がたくさん用意されていたことから始まりました。偶然それを二つつなげ、持ち上げたら「はしご」に見えました。さらに、長くつないだ箱を立てたら「はしご車」に見えてきたのです。ところが、はしご車は長すぎたため、倒れます。その倒れた先には机があり、はしご車は床に向かって斜めに架かりました。その長いはしご車は、こうして、「道路」になったのです。つないでみたら面白い。面白いから夢中になる。次々と見えるものが変

わっていく。教師は決して「この箱は○○になりそうだね」とは言いません。子どもが求める技術だけを子ども自身ができるように、傍らで支援していました。箱をどう使うかは、子ども自身が感じて、子ども自身で決めるのです。様々に見立てたり組み合わせを楽しんだりして、自分なりの使い方を広げている姿にこそ、やがてその特性を知り、さらにはそれを生かした使い方への気付きにつながる創造的な活動の源泉があるのです。この姿を大切にしていかなければならないと思っています。

本年度、コロナ禍にもかかわらず、第17回新潟教育アート展が開催されました。関係の皆様にご心より御礼申し上げます。表彰式では、受賞者及び保護者の皆様の喜びと自信あふれる笑顔を拝見し、本展覧会の意義を改めて実感いたしました。結びに、この状況下で懸命に企画・運営に携わったすべての皆様に心から感謝いたします。

「第17回新潟教育アート展」  
令和4年1月4日(火)〜9日(日)

新潟市新津美術館



第17回新潟教育アート展へのご協力ありがとうございました



下越美術教育研究会  
新潟教育アート展事務局長  
若月 良允  
(新潟市立巻北小学校)

令和4年1月4日から9日まで、新潟市新津美術館を会場に、第17回新潟教育アート展を開催いたしました。会期中は4762人が来場し、盛況のうちに終わることができました。

2年ぶりの開催となった今回は、230校の学校園より15000点を超える作品を応募していただきました。皆様のおかげで、教育アート展が地域に根付いた展覧会として開催できることに感謝申し上げます。

今年度も「子どもの思いや願い」があふれる作品が集まりました。自分の思いを表すために表現の仕方が考えられ、作品からつくります喜びを感じることができました。

今回は第18回です。また子どもたちの豊かな表現に出会えることを楽しみに、企画運営を行っていきたく思います。展覧会に携わっていただいた全ての方に感謝申し上げます。ありがとうございました。

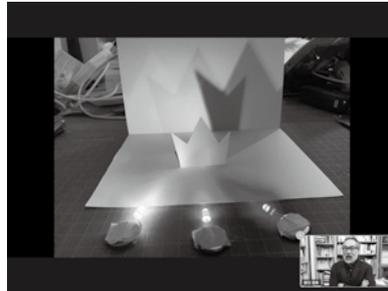
冬季オンライン講演会

(第62回実技研修会)

『魂の震えるような授業をめざして』

「光の三原色で～遊ぶ・学ぶ・創造する～」

講師：新潟大学教育学部 教授 柳沼 宏寿 様



講演会では、大学教授の柳沼先生ならではの深い知識から、論理的に美術教育について学ぶことができました。また、具体的に光の三原色の装置の作り方と三段階の活動のやり方や、現場の先生方の実践もご紹介いただき、これなら私もできるかもという思いをもてる内容でした。オンラインで、気軽に参加できたのもよかったです。



鈴木 美紗

(新潟市立牡丹山小学校)

参加者の声

今年度は新型コロナウイルス感染症拡大の状況を鑑み、実技研修会をオンラインによる講演会に変更し、1月29日に実施しました。今回は、新潟大学教育学部教授の柳沼宏寿様を講師にお迎えして光の三原色を題材とした三段階の活動の実践を画像や動画で多数紹介していただきました。光やICTを活用した表現は、幅広い年齢の児童生徒への指導に活用でき、可能性を強く感じた実りのある講演会でした。



森 林直美

(新潟市立鏡郷小学校)



令和3年度 決算報告

1 収入の部				
項目	令和3年度予算	令和3年度決算額	増減(△印減)	備考
1 負担金	134,000	133,767	△ 233	400×353給園分=141,200 141,200-手数料7,433=133,767
2 繰越金	100,606	100,606	0	
3 雑収入	0	0	0	
合計	234,606	234,373	△ 233	(予算と比較して減の場合△)
2 支出の部				
項目	令和3年度予算	令和3年度決算額	増減(△印減)	備考
1 県美負担金	20,000	19,110	△ 890	19,000円+振込手数料110円
2 会議費	4,000	4,000	0	第1回理事会会場費
3 事務費	30,000	13,780	△ 16,220	印刷用紙・ファイル等
4 印刷費	20,000	17,600	△ 2,400	会報PDF作製(秋季・春季2回発行)
5 広報費	23,000	22,807	△ 193	ドメイン使用料・年間使用料
6 通信費	40,000	17,574	△ 22,426	切手・文書発送費
7 研修補助費	40,000	40,000	0	
8 県美大会準備費	10,000	10,000	0	
9 予備費	47,606	4,400	△ 43,206	負担金額入金返金・会計監査旅費
合計	234,606	149,271	△ 85,335	
3 差引残高				
収入合計234,373円-支出合計149,271円=残高85,102円 上記のとおり、報告いたします。				
令和4年3月4日 下越美術教育研究会会計 山眞 ひとみ (新潟市立日和山小学校)				

●●● 編集後記 ●●●

会報「春季号」をお届けいたします。今年度は、二年ぶりに新潟教育アート展を開催することができました。今年度の活動へのご協力、感謝申し上げます。

令和3年度 下越美術教育研究会 事業報告

日付	内容	場所
<b>&lt;令和3年&gt;</b>		
6月30日	新潟県美術教育連盟理事会	オンライン会議
7月5日	第1回理事会・代議委員会	新潟・新津美術館
8月7日	第1回新潟教育アート展実行委員会	新潟・小新中学校
8月30日	第52回ジュニア美術展覧会 運営委員会	オンライン会議
10月上旬	第17回新潟教育アート展 募集要項発送	
11月6日	第81回全国教育美術展 新潟地区審査会協力	新潟・笹口小学校
11月13日～17日	第17回新潟教育アート展 搬入期間	新潟・新津美術館
11月17、18日、22日	第52回ジュニア美術展覧会 審査協力	新潟・ゆいぽーと
11月29日	第17回新潟教育アート展 審査会	新潟・新津美術館
12月2日	第17回新潟教育アート展 審査結果発送作業	新潟・新津第五中学校
12月25日(26日)	第17回新潟教育アート展 展示作業	新潟・新津美術館
<b>&lt;令和4年&gt;</b>		
1月4～9日	第17回新潟教育アート展 会期	新潟・新津美術館
1月10日	第17回新潟教育アート展 搬出作業	新潟・新津美術館
1月29日	冬季オンライン講演会(第62回実技研修会)	オンライン講演会
2月23日	第2回理事会 第2回新潟教育アート展実行委員会 第35回下越美術教育研究会を語る会→中止	オンライン会議 新潟・新津第二小学校
3月4日	下越美術教育研究会 会計監査 新潟教育アート展 会計監査	新潟・女池小学校
3月15日	下越美術教育研究会会報「春季号」発行	